

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公表番号】特表 2019-513923 (P2019-513923A)

【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2018-554077 (P2018-554077)

【国際特許分類】

E 0 5 C 17/22 (2006.01)

B 6 0 J 5/04 (2006.01)

【F I】

E 0 5 C 17/22 A

B 6 0 J 5/04 K

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 10 日 (2020.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ドアホルダであって、ドア (2) またはドアフレーム (1) の一方に接続可能な保持ハウジング (230) と、保持ハウジング (230) の開口 (31) を貫通し、ドア (2) およびドアフレーム (1) の他方と関節運動可能な、ドア保持ロッド (20; 120) と、を含み、

ドア保持ロッド (20, 120) は、少なくとも 1 つの制動面 (24a, 24b; 124a, 124b) を有し、

少なくとも 1 つの制動面 (24a, 24b; 124a, 124b) の方向に変位可能な少なくとも 1 つの制動要素 (50) が、保持ハウジング (230) 上に配置され、制動要素は、ドア保持ロッド (20; 120) の少なくとも 1 つの制動面 (24a, 24b; 124a, 124b) と少なくともセクション (41, 42, 43) で接触することができ、それにより、ドア保持ロッド (20; 120) の変位に対する一次制動力成分を生成し、ドア保持ロッド (20; 120) は、制動面 (24a, 24b; 124a, 124b) に関連して傾斜した少なくとも 1 つのガイド面 (25a, 25b; 125a, 125b) を有し、

少なくとも 1 つのガイド要素 (235a, 235b) が、保持ハウジング (230) 上に配置され、

該ガイド要素は、少なくとも 1 つのガイド面 (25a, 25b, 125a, 125b) と少なくとも領域 (49) で接触され、ドア保持ロッド (20; 120) の変位に対する二次制動力成分を生成し、

ガイド要素が、ピン (235a, 235b) として形成され、ピン (235a, 235b; 235a', 235b') は、保持ハウジング (230) のガイド部 (35) に収容され、ピン (235a, 235b; 235a', 235b') の端面は、開口部 (31) 内に軸方向に突出するか、または少なくとも開口部 (31) の境界を定めることを特徴とする、

前記ドアホルダ。

【請求項 2】

少なくとも1つのガイド要素 (2 3 5 a, 2 3 5 b) が、プラスチックで形成されていることを特徴とする、請求項1に記載のドアホルダ。

【請求項3】

プラスチックが、P E E Kを含むことを特徴とする、請求項1に記載のドアホルダ。

【請求項4】

少なくとも1つのガイド要素 (2 3 5 a, 2 3 5 b) が、ガイド面 (2 5 a, 2 5 b ; 1 2 5 a, 1 2 5 b) と接触する領域において補強繊維を含まないことを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項5】

ピン (2 3 5 a, 2 3 5 b ; 2 3 5 a', 2 3 5 b') が、保持ハウジング (2 3 0) のボアホール内に受け入れられることを特徴とする、請求項1～4のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項6】

ボアホールが、少なくとも1つの変位可能な制動要素 (5 0) の軸に垂直に延びる軸を有することを特徴とする、請求項5に記載のドアホルダ。

【請求項7】

ピン (2 3 5 a、2 3 5 b ; 2 3 5 a'、2 3 5 b') が、保持ハウジング (2 3 0) のボアホールにねじ込まれることを特徴とする、請求項5または6に記載のドアホルダ。

【請求項8】

ピン (2 3 5 a, 2 3 5 b ; 2 3 5 a', 2 3 5 b') が、ガイド面 (2 5 a, 2 5 b) に沿ってスライドするのを容易にする丸い端面を有することを特徴とする、請求項1～7のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項9】

ガイド要素 (2 3 5 a, 2 3 5 b) が、ガイド面 (2 5 a, 2 5 b ; 1 2 5 a, 1 2 5 b) に向かって圧力をかけられることを特徴とする、請求項1～8のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項10】

少なくとも1つの制動要素 (5 0) が、少なくとも1つの制動面 (2 4 a, 2 4 b ; 1 2 4 a, 1 2 4 b) の方向にバネ (5 1) によって付勢され、少なくとも1つの制動面 (2 4 a, 2 4 b ; 1 2 4 a, 1 2 4 b) は、ドア保持ロッド (2 0 ; 1 2 0) のコースに渡る高さに不均一に延びる高さ輪郭を有し、高さ輪郭の高さが増加するにつれて、少なくとも1つの制動要素 (5 0) のばね (5 1) がより多く応力をかけられるようになることを特徴とする、請求項1～9のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項11】

ドア保持ロッド (2 0 ; 1 2 0) が、対になって互いに反対方向を向く2つの制動面 (2 4 a, 2 4 b) を有し、ドア保持ロッド (2 0 ; 1 2 0) が、対になって互いに反対方向を向く2つのガイド面 (2 5 a, 2 5 b ; 1 2 5 a, 1 2 5 b) を有することを特徴とする、請求項1～10のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項12】

2つの制動面 (2 4 a, 2 4 b ; 1 2 4 a, 1 2 4 b) のそれぞれを制動要素 (5 0) に接触させることができ、2つのガイド面 (2 5 a, 2 5 b ; 1 2 5 a, 1 2 5 b) のそれぞれをガイド要素 (2 3 5 a, 2 3 5 b) に接触させることができることを特徴とする、請求項11に記載のドアホルダ。

【請求項13】

対になって互いに対向するガイド要素 (2 3 5 a, 2 3 5 b) が、2つの線が平面にまたがるように、対になって互いに対向する制動要素 (5 0) の変位軸と交差する最短の接続直線を画定することを特徴とする、請求項12に記載のドアホルダ。

【請求項14】

2つの対向するガイド要素 (2 3 5 a, 2 3 5 b) が、保持ハウジング (2 3 0) 上に配置されており、少なくともいくつかの領域において互いに反対方向に向く2つのガイド

面（2 5 a，2 5 b；1 2 5 a，1 2 5 b）と接触することができ、2つのガイド面（2 5 a，2 5 b；1 2 5 a，1 2 5 b）が、少なくとも1つの領域（4 9）において、2つのガイド要素（2 3 5 a，2 3 5 b）に対してオーバーサイズを有することを特徴とする、請求項1～1 3のいずれか一項に記載のドアホルダ。

【請求項15】

ガイド要素（4 3 5 a，4 3 5 b）が、保持ハウジング（4 3 0）の別個のガイド部（3 3 5；4 3 5）上に設けられ、別個のガイド部（4 3 5）は、保持ハウジング（4 3 0）を形成するために保持ハウジング（4 3 0）のさらなる個々の部分（4 3 4）と組み立てることができることを特徴とする、請求項1～1 4のいずれか一項に記載のドアホルダ。